

みなさんの身近に役立つ日本共産党

——日本共産党の立党の精神は、国民の苦難を解決するため全力をあげることです——

伊佐沼の改修は県事業で

伊佐沼の水質改善を日本共産党は提案してきましたが、このほど県事業として地元の意見を聞いて改修計画をつくることに。本格的な改修が進み、市の負担も少なくなりました。

子育て支援

病後時保育・妊婦無料健診拡大
保育園の待機児対策・少人数学級

今年、病後児保育が実施されます。働きながら子育てしている人たちの声が実現。また、無料で受けられる妊婦健診が5回に拡大。日本共産党は、子育て支援の充実を求めて署名活動や議会内外で要請していました。

市民体育館跡地を早く駐車場に

税金の申告時期や休日の観光客などで市役所前の道路は大渋滞をしています。日本共産党は、市民体育館跡地を臨時駐車場に開放して渋滞解消を提案、四月から実施されます。

特定健診は無料に

従来の基本健康診査は廃止され、生活習慣病予防のため健康診査がはじまります。市の

国民健康保険加入者と75歳以上の後期高齢者に無料で実施します。党も要求していました。

学校の雨漏り対策・耐震改修促進

大東東小の雨漏り対策や二〇校の小中学校体育館の耐震診断調査（校舎は完了）川越第一中の体育館や今成小の校舎などの耐震診断設計委託料が計上されました。

地球温暖化対策地域推進計画

日本共産党議員団がいち早く条例化を求め、全国で三番目の条例制定になりました。

耐震診断

市内の個人住宅の耐震診断へ、一部補助がおこなわれます。

暖房費を補助

川越市は、今年三月末日まで緊急に、生活保護者、ひとり親世帯、障害者世帯、七五歳以上の高齢者世帯を対象に三千円の暖房費の補助実施しました。

日本共産党議員団は一月初めに原油の高騰で灯油が昨年の二倍近く値上がりしている。緊急に、低所得者などに対策を行うべきだと舟橋市長に申し入れていました。
「本当に助かります」との声が寄せられています。



今年1月、市長に緊急要請をおこなう長沼ちね衆院埼玉七区国政対策委員長と4名の党市議員

みんなで進める地球温暖化対策

廃食油の活用でCO2削減を



地球温暖化が大きな問題になっています。私たちがやらなければならぬのは、身近なところから行動を起こしていくことです。私は、このような立場から三月議会で二つの提案をしました。
一つは、外国での森林伐採や穀物飼料の高騰で問題になっている

大東東小学校の 防水工事実施へ

川口議員は、昨年学校の調査を行い、図書室など学校の雨漏り対策を求めました。今年、大東東小学校体育館の防水工事が実施される予定です。

バイオエタノール燃料とは違い、なたね油など使い終わった廃食油を回収・精製してディーゼル車の代替え燃料として使うバイオディーゼル燃料の導入を提案しました。公用車のうちディーゼル車50台をバイオディーゼル燃料にかえた場合（一リットル70円〜90円）、約90万〜440万円の燃料費の削減に。二酸化炭素の排出量は、カーボンニュートラルの作用で年間約450トンの削減効果につながる事が明らかになりました。
環境部長は、廃食油の回収・精製は循環型社会の形成や環境保全、コミュニティーの活性化にも効果があり、検討したいと答弁しました。

気軽に楽しく省エネを

二つ目に、省エネ効果が実感で

きる「エコ家計簿」の提案です。これまで市は、エコチャレンジファミリーで省エネ家計簿を進めてきました。市の窓口に行かなくてはならないこと、家計簿の中身も計算する手間や昨年同月と比較できない表となっています。もっと工夫と改良をかさね、気軽に楽しく省エネに取り組めるよう市のホームページや広報川越で配布し広く市民に知らせるべきと要求しました。



南大塚駅・北口にエレベーター実現
(今年2月末に開設)

日本共産党 3月市議会報告

2008年No.2

市議会議員 川口ともこ

～お困りごとお気軽にご相談下さい～
連絡先 090-9833-0288
049-244-5988
川越市大袋新田77-35

発行：日本共産党議員団
連絡先：川越市役所日本共産党議員団控室
電話：224-5988 内線3636
ホームページ：<http://www.jcp-kawagoe.jp/>